
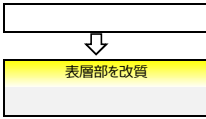

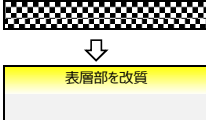




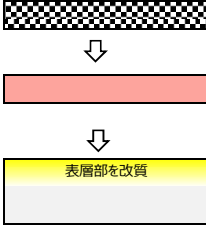


シリカリの主な工法


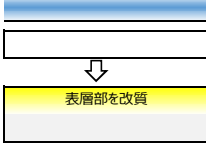
20190209現在

工法名（主な使用部位）				
使用材料	単位塗布量	塗布量管理 (塗布認証)	塗布後の散水洗浄 撥水の有無 赤色の有無	材工単価 (円/㎡) ※ 1

シリカリ法面工法（法面吹付コンクリート等含浸材が浸透しやすい場合）				
シリカリ（無色タイプ）	0.223kg (0.2ℓ) /㎡	空缶管理 (着色タイプによる塗布認証も選択可) ※2	散水洗浄なし 撥水しない	2,100
		シリカリ（無色タイプ）を塗布（0.223kg (0.2ℓ) /㎡） 法面吹付コンクリート等		

シリカリ白化抑止工法（非歩行となる場合）				
シリカリ（遮水材入り無色タイプ）	0.223kg (0.2ℓ) /㎡	空缶管理 (着色タイプによる塗布認証も選択可) ※2	散水洗浄なし 撥水する	2,400
		シリカリ（遮水材入り無色タイプ）を塗布（0.223kg (0.2ℓ) /㎡） 塗布認証（撥水していない箇所がないか？） コンクリート構造物等で非歩行となる部分	 塗布認証 (水噴霧しても 撥水する)	

シリカリ塗布判定工法（非歩行となる場合で、塗布認証（記録をする場合））				
シリカリ（着色タイプ） + シリカリ（遮水材入り無色タイプ）	0.223kg (0.2ℓ) /㎡	空缶管理 (着色タイプによる塗布認証と 水掛け試験による塗布認証)	散水洗浄なし 撥水する 赤くなる	2,800
		② シリカリ（遮水材入り無色タイプ）を塗布（0.1115kg (0.1ℓ) /㎡） 塗布認証（撥水していない箇所がないか？） ① シリカリ（着色タイプ）を塗布（0.1115kg (0.1ℓ) /㎡） 塗布認証（赤くなっていない箇所がないか？） コンクリート構造物等で非歩行となる部分	 ②の塗布認証 (水噴霧しても 撥水する)  ①の塗布認証 赤くなるが 72時間(屋外)で 退色する	

シリカリ防水工法（歩行する場合）				
シリカリ（無色タイプ）	0.223kg (0.2ℓ) /㎡	空缶管理 (着色タイプによる塗布認証も選択可)	散水洗浄あり 撥水しない	2,800
		シリカリ塗布後、念入りに散水洗浄 シリカリ（無色タイプ）を塗布（0.223kg (0.2ℓ) /㎡） コンクリート構造物等で歩行する部分		

※ 1 300㎡当たりで計算した㎡単価（塗布前的高圧洗浄、足場、0.2mm以上のひび割れ補修は含んでいない）

※ 2 着色タイプは別途材料加算が必要

※ 3 遮水材は3%添加

# シリカ法面工法の概要

## 《法面吹き付けコンクリートに塗布するだけで止水・改質する工法》

### 【効果】

- ①土砂内の雨水が、ひび割れから外界に漏れ出すのを**止水**する。ひび割れを通過する雨水の出入りを止水する効果は過乾燥も抑えて、**ひび割れの拡大や進行を抑止**する。
- ②吹き付けコンクリートの成分に水酸化カルシウム（アルカリ）がある。  
雨水溶解率は0.17%であり、雨水によってエフロに変化する。  
この水酸化カルシウムをシリカがつかまえて、けい酸カルシウム（中性）に変える。  
けい酸カルシウムの雨水溶解率は0.01%であり、**エフロ発生率を17倍抑える**。  
この効果で**エフロ抑止する = 炭酸化も抑止する**。
- ③シリカの施工後は、**冬季透湿性が確保**される。湿気の通気を妨げないので、**凍害を抑止**する。
- ④新設吹き付けコンクリートなら材液を塗布するだけで完了しても、乾燥後、白化しにくい。

### ④劣化抑止

- ・エフロ発生抑止・炭酸化抑止・ひび割れ成長抑止
- ・緻密にして雨水の吸水抑止
- ・冬季透湿性が確保され凍害抑止

### 【材工設計価格】

300㎡一期施工 1㎡/2,100円

### 【塗布量】

- ・1㎡/0.223kg (0.2ℓ)
- ・16ℓ入り 1缶の塗布/80㎡
- ・10ℓ入り 1缶の塗布/50㎡

## シリカリ白化抑止工法の概要

《遮水剤を添加し、初期の遮水効果で最終散水洗浄なしでも、材液乾燥後の白化を抑止し現場打設コンクリートに塗布するだけで止水・改質する工法》

### 【効果】

①雨水が、ひび割れから漏れ出すのを**止水**する。ひび割れを通過する雨水の出入りを止水する効果は、全面塗布によって過乾燥も抑えて、**ひび割れの拡大や進行を抑止**する。

②現場打設コンクリートの成分に水酸化カルシウム（アルカリ）がある。

雨水溶解率は0.17%であり、雨水によってエフロに変化する。

この水酸化カルシウムをシリカリがつかまえて、けい酸カルシウム（中性）に変える。

けい酸カルシウムの雨水溶解率は0.01%であり、**エフロ発生率を17倍抑える**。

この効果で**エフロ抑止する＝炭酸化も抑止する**。

③シリカリの施工後は、**冬季透湿性が確保**される。湿気の通気を妨げないので、**凍害を抑止**する。

### ④劣化抑止

- ・塗布材液乾燥後であれば、塗布認証が水掛けによって、目視確認することができる
- ・エフロ発生抑止・炭酸化抑止・ひび割れ成長抑止
- ・緻密にして雨水の吸水抑止
- ・冬季透湿性が確保され凍害抑止

### 【材工設計価格】

300㎡一期施工 1㎡/2,400円

### 【塗布量】

- ・1㎡/0.223kg (0.2ℓ)
- ・16ℓ入り 1缶の塗布/80㎡
- ・10ℓ入り 1缶の塗布/50㎡
- ・添加剤は1缶/480㎡

## シリカリ塗布判定工法の概要

《最初に着色タイプを塗布し、仕上げに遮水剤を添加して重ね塗り、吹き付けコンクリートや現場打設コンクリートに塗布するだけで止水・改質し、初期の遮水効果で最終散水洗浄なしでも材液乾燥後の白化を抑止し、塗布後90～180日間は2種の塗布確認ができる工法》

### 【効果】

①雨水が、ひび割れから漏れ出すのを**止水**する。ひび割れを通過する雨水の出入りを止水する効果は、全面塗布によって過乾燥も抑えて、**ひび割れの拡大や進行を抑止**する。

②コンクリートの成分に水酸化カルシウム（アルカリ）がある。

雨水溶解率は0.17%であり、雨水によってエフロに変化する。

この水酸化カルシウムをシリカリがつかまえて、けい酸カルシウム（中性）に変える。

けい酸カルシウムの雨水溶解率は0.01%であり、**エフロ発生率を17倍抑える**。

この効果で**エフロ抑止する＝炭酸化も抑止する**。

③シリカリの施工後は、**冬季透湿性が確保**される。湿気の通気を妨げないので、**凍害を抑止**する。

### ④劣化抑止

- ・塗布材液乾燥直後～翌日まで、塗布認証が赤着色によって目視確認することができる
- ・塗布材液乾燥後から90～180日以内は、塗布認証が水掛確認することができる
- ・エフロ発生抑止・炭酸化抑止・ひび割れ成長抑止
- ・緻密にして雨水の吸水抑止
- ・冬季透湿性が確保され凍害抑止
- ・材液乾燥後の白化を抑止

### 【材工設計価格】

300㎡一期施工 1㎡/2,800円

### 【塗布量】

- ・1㎡/0.223kg (0.2ℓ)
- ・16ℓ入り 1缶の塗布/80㎡
- ・10ℓ入り 1缶の塗布/50㎡
- ・添加剤は1缶/480㎡

## シリカリ防水工法の概要

《最終散水洗浄を念入りに行う工法。必用に応じて着色タイプを選択できます。遮水剤の添加は出来ません。専任作業員による作業を経て、現場打設コンクリートの止水・改質・防水として、防水保証最長10年間の発行に応じることが出来ます。

### 【効果】

①雨水が、ひび割れから漏れ出すのを**止水**する。ひび割れを通過する雨水の出入りを止水する効果は、全面塗布によって過乾燥も抑えて、**ひび割れの拡大や進行を抑制**する。全面塗布によって、塗膜等の付着がなく、躯体が防水層となる浸透性防水。

②コンクリートの成分に水酸化カルシウム（アルカリ）がある。

雨水溶解率は0.17%であり、雨水によってエフロに変化する。

この水酸化カルシウムをシリカリがつかまえて、けい酸カルシウム（中性）に変える。

けい酸カルシウムの雨水溶解率は0.01%であり、**エフロ発生率を17倍抑える**。

この効果で**エフロ抑制する＝炭酸化も抑制する**。

③シリカリの施工後は、**冬季透湿性が確保**される。湿気の通気を妨げないので、**凍害を抑制**する。

### ④劣化抑制

- ・塗布認証目視確認が必要な場合は、赤着色タイプを選択できる。
- ・エフロ発生抑制・炭酸化抑制・ひび割れ成長抑制
- ・緻密にして雨水の吸水抑制
- ・冬季透湿性が確保され凍害抑制

### 【材工設計価格】

300㎡一期施工 1㎡/2,800円

### 【塗布量】

- ・1㎡/0.223kg (0.2ℓ)
  - ・16ℓ入り 1缶の塗布/80㎡
  - ・10ℓ入り 1缶の塗布/50㎡
- 添加剤は1缶/480㎡ ←